母子モ株式会社

News Release

2026 年 11 月 9 日

# 母子モが新たに 21 自治体で妊娠届のデジタル申請サポートを開始！
## ～妊娠届のデジタル化により母子保健 DX をけん引し、自治体・子育て世帯の利便性向上へ～

母子手帳アプリ『母子モ』を提供する母子モ株式会社（以下、「当社」）は、10 月より、新たに 21 自治体にて妊娠届のデジタル申請支援を開始しています。

当社は、『母子モ』の追加機能として利用可能な子育て関連事業デジタル化支援サービス『子育て DX®』において、妊娠届の申請機能に特化した「妊娠届出サービス」および、妊娠届や、妊娠・出産に関する各種アンケートをアプリから申請できる「質問票サービス」を提供しています。

10 月からは、新たに岡山県矢掛町、茨城県稲敷市、東京都小金井市など 21 自治体にて、「妊娠届出サービス」または「質問票サービス」が導入され、当社が妊娠届のデジタル申請を支援する自治体数は累計 288 となります。

利用者は妊娠届の申請がアプリから可能になるほか、自治体は申請内容をもとに妊婦一人ひとりの状況を把握し、面談や支援につなげるなど、伴走型相談支援の円滑な実施や関連業務の効率化にも寄与します。

当社は本取り組みを機に、全国の自治体の母子保健 DX（デジタルトランスフォーメーション）をけん引していくことを目指します。




**◆妊娠届のデジタル化サービスを起点に、『母子モ』が全国で本格化する母子保健 DX を後押し！**

こども家庭庁が推進する「こども政策 DX」では、住民や自治体、医療機関が母子保健情報を適切かつ迅速に共有・活用できるよう、母子保健分野のデジタル化が全国的に進められています。※1

妊娠届はこうした取り組みにおける住民と自治体の最初の接点であり、母子手帳アプリの利用をはじめ、乳幼児健診や小児予防接種など、今後の本格的な母子保健 DX の入り口となり得る重要な手続きです。当社はこれまでも『子育て DX』の「質問票サービス」を通じて妊娠届のデジタル申請を支援しており、アプリからの申請率は 9 割を超える導入自治体も確認されています。※2

これらの実績から、妊娠届のデジタル化が定着することで、母子手帳アプリ自体の利用率が 9 割などの高い水準に達することや、それに伴い子育て世帯と自治体のデジタルを通じた接点が妊娠初期から生まれ、子育て世帯に必要な行政情報がより届きやすい環境整備へとつながることが期待されます。また、予防接種や乳幼児健診など、母子保健分野全体のデジタル化を円滑に推進する基盤になることも見込まれます。

このような背景を受け、当社は妊娠届のデジタル申請が可能となるサービスを提供することで、全国の自治体における母子保健 DX の環境整備を支援しています。

**◆10 月から『母子モ』にて妊娠届のデジタル申請支援を開始している主な自治体一覧**

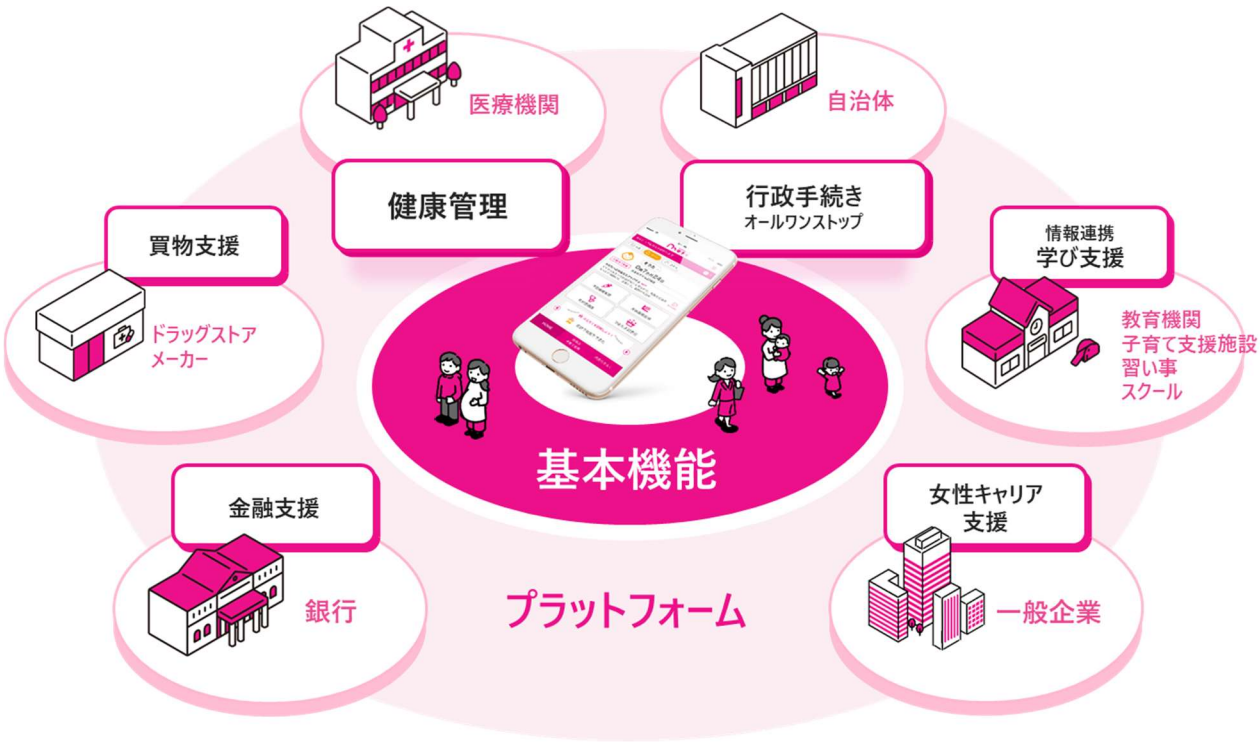
※（）内は各自治体で提供するアプリ名

| | |
|---|---|
| 秋田県八峰町（母子モ） | 茨城県稲敷市（母子モ） |
| 千葉県神崎町（こうざきっずアプリ） | 長野県大桑村（すくすく☆おおくわナビ） |
| 山梨県西桂町（西桂町子育ち応援“きずな”アプリ） | 岐阜県白川村（まめサポ 白川村） |
| 大阪府枚方市（ひら☆はぐ） | 和歌山県田辺市（たな Baby☆なび） |
| 岡山県矢掛町（やかげおひさまアプリ） | 広島県北広島町（ネウボラ てごナビ） |
| 福岡県大木町（おおきっこ） | 長崎県五島市（みじょログ） |

| | |
|---|---|
| 佐賀県嬉野市（ゆっつら子育てアプリ） | 宮崎県高鍋町（いつでもオヤトコ） |
| 鹿児島県長島町（ながしま子育て物語アプリ） | 鹿児島県西之表市（西之表市母子手帳アプリ　にしぼし☆） |

妊娠届のデジタル申請が可能となることで、利用者は体調などが不安定になりやすい妊娠期においても、手続きの負担軽減および利便性向上が期待でき、自治体職員にとっても窓口対応や情報管理などの業務効率化が目指せます。

当社は、妊娠・子育てに関する摩擦係数をゼロにすることをビジョンとして掲げています。その実現に向け、『子育て DX』を通じたさらなる支援領域の拡張・連携（妊産婦健診、予防接種、乳幼児健診など）や、子育てに係るオールワンストップでの申請・手続きの整備、関係機関（医療、保育・教育、専門機関など）との母子保健情報の連携を推進しています。これにより、保護者の“不安や負担”を軽減し、“安心で簡便”な子育て社会を地域と共創することを目指します。




母子手帳アプリ 母子モ

**サービス名** ： 母子モ（自治体によって名称が異なる場合があります）
**月額料金（税込）** ： 無料

**●サービス内容**

**＜母子手帳アプリ『母子モ』＞**

妊産婦と子どもの健康データの記録・管理や予防接種のスケジュール管理、出産・育児に関するアドバイスの提供、離れた地域に住む祖父母など家族との共有機能、子どもの成長・発達の目安としての役割も備えている育児日記「できたよ記念日」などの便利な機能から、自治体が配信する地域の情報をお知らせするなど、育児や仕事に忙しい母親や父親を助けてくれる機能が充実しています。

**＜『子育て DX』＞**

自治体の子育て関連事業のデジタル化を支援するサービス。『母子モ』の追加機能として利用でき、妊娠届出のオンライン提出や乳幼児健診の手続きのデジタル化などに対応し、環境の変化に合わせた新たな子育て支援の仕組みづくりや、より便利で安心・安全な子育て環境の実現をサポートします。

**●アクセス方法**

**＜母子手帳アプリ『母子モ』＞**

・アプリ：App Store、Google Play で『母子モ』を検索（対応 OS：Android™ 8.0 以上、iOS 15.0 以上）
・Web ブラウザ：https://www.mchh.jp にアクセス

**＜『子育て DX』＞**

・Web ブラウザ：https://www.mchh.jp/boshimo-kosodatedx にアクセス

※対象自治体にお住まいの方以外でもご利用いただけますが、お住まいの自治体の情報などは公式 HP の情報をご確認ください。

※ご利用いただける機能は、お住まいの市区町村により一部内容が異なります。

※1：参考「こども政策 DX の推進に向けた取組方針 2025」
https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/6cfab22c-d2bf-4dd1-81ea-49308519ac3a/cf0aacb9/20250630_councils_kodomo_seisaku_DX_6cfab22c_06.pdf?utm_source=chatgpt.com

※2：参考リリース

福岡県筑紫野市にて、『子育て応援アプリ ちくしっこ』（母子モ）からの妊娠届申請率が 95%超！
https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000487.000099909.html

福島県福島市にて、福島市子育てアプリ『えがお』（母子モ）からの妊娠届申請率が 99%超！
https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000480.000099909.html

福岡県大野城市で『おおのじょう子育てナビ』（母子モ）からの妊娠届申請率が約 9 割！
https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000479.000099909.html

岡山県津山市にて、『つやま子育てアプリ』（母子モ）からの妊娠届出申請率が 97%！
https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000475.000099909.html

長崎県西海市にて、『さいかい子育て応援アプリ Baby ぐっど』（母子モ）からの妊娠届申請率が 2 年連続で 9 割超！
https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000474.000099909.html

※『子育て DX』は母子モ株式会社の登録商標です。
※Google Play、Android は Google LLC の商標です。
※App Store は、Apple Inc.のサービスマークです。
※iOS は、Apple Inc.の OS 名称です。iOS は、米国およびその他の国における Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

報道関係の方からのお問い合わせ先

株式会社エムティーアイ 広報部 母子モ広報担当
TEL：03-5333-6755 FAX：03-3320-0189
E-mail：mtipr@mti.co.jp URL：https://www.mti.co.jp/

一般のお客様からのお問い合わせ先

母子モお問い合わせ窓口
（株式会社エムティーアイ コンタクトセンター）
E-mail：boshi_info@cc.mti.co.jp